

「自律」 黒木中だより 第16号

令和6年2月13日



八女市立黒木中学校
八女市黒木町北木屋60

☎ 0943-42-0109

編集責任者 山口 繁喜

『時に初春（しよしゆん）の令（よ）き月、気淑（よ）く風和（なご）み、梅は鏡前（きょうぜん）の粉を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香を薰（かをら）す。』

意味：初春の良い月、気は麗しく風はやわらかだ。梅は鏡台の前の女性が装う白粉（おしろい）のように開き、蘭は身を飾ったお香のように薰っている。

これは、万葉集の梅花の歌32首の序文で、元号「令和」の出典元となったものです。春の訪れを告げる梅の花のように、明日への希望と共に、一人ひとりが大きく花を咲かせられる日本でありたいとの願いを込めて、「令和」に決定したとのこと。

ところで、私たちに古（いにしえ）より親しまれた梅は、慣用句や諺（ことわざ）に多く用いられています。「散るは桜 薫は梅」「梅一輪一輪ずつの暖かさ」「梅に鶯（うぐいす）」「梅根性に柿根性」「梅干しは三毒を断つ」などなど。意味を調べてみるとおもしろいですよ。また、立花町で夢たちばな観梅会も催されます。『光陽小梅』を堪能しながら、梅の魅力を探ってみませんか。

八女市郡巡回中学校美術展

1月下旬に、授業等で取り組んだ美術の作品が八女市郡の各学校へ巡回展示されました。本校からは、21点の作品を出品しました。他校の作品に感動する生徒も多数見られ、芸術を通して、感性豊かな生徒を育てていく大切さを改めて感じました。



巡回美術展出品者

<1年生>

<2年生>

<3年生>

福岡県新人卓球大会

2月3日に福岡市民体育館で実施され、男子卓球部が出場しました。どの試合も、実力が伯仲する中、一進一退の試合展開でした。そして、接戦を制して、3位に入賞しま



した。日々の「球」球を大切に練習の成果でした。

和楽器演奏

音楽の授業では、和楽器を取り扱うようになってきました。本校では箏〔そう(こと)〕で「さくら さくら」を演奏し、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるようにしています。生徒たちは、和楽器特有の音色と音階を楽しみながら演奏していました。



黒木西小1，2年生中学校訪問

2月13日に、黒木西小学校の1，2年生27名が給食センター見学後、中学校訪問をしました。4時間目に校舎見学と中学生の授業を参観しました。調理室で給食を食べた後、昼休み生徒会役員の中学生と一緒に体育館で遊びました。中学校に初々しい風が吹き抜けた一瞬でした。



筑後地区新年揮毫会

第15号で紹介していた新年揮毫会の作品が下記のように入賞しました。

	一年	二年	三年
天賞			
地賞			
人賞			
秀逸			
入選			

☆ 保護者の皆さまへ ☆

公立高校の特色化選抜入試、私立高校の推薦・専願入試、一般入試、公立高校の推薦入試が1月中旬から立て続けに行われ、残るは公立高校の一般入試が3月5・6日となりました。3年生は「最後の一人の進路が決まるまで」を合い言葉に励まし合っています。その中、明日から3日間、後期期末考査を実施します。3年生にとって義務教育最後の定期考査です。1，2年生も学年のまとめです。日頃の学習の成果が発揮できるように見守りと声かけをお願いします。

「能登半島地震」への募金を黒木中PTAから、PTA全国協議会を通して行いました。